

第3章 消防局の消防活動状況

■ 消防体制（平成7年1月1日現在）

西宮市消防局の消防力は、局に2部7課、市内に4消防署3分署を配置し、職員数339名で、消防車両は51台を保有している。

消防自動車等の保有数

| 車種別 | 所属別 | 局 | 西宮 | 北夙川 | 鳴尾 | 瓦木 | 甲東 | 北 | 山口 | 計 |
|---------|-----|---|----|-----|----|----|----|---|----|----|
| ポンプ車 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 |
| タンク車 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| はしご車 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 3 |
| シュノーケル車 | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 化学車 | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 救助工作車 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 3 |
| 救急車 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 9 |
| 支援車 | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 指揮広報車 | | 2 | | | | | | | | 2 |
| 査察広報車 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 |
| 資器材搬送車 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 人員搬送車 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 指揮車 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 防災指導車 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 連絡車・広報車 | | 4 | | | | | | | | 4 |
| 可搬式ポンプ | | 4 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 14 |

職員配置

| 職員数 | 局 | 西宮 | 北夙川 | 鳴尾 | 瓦木 | 甲東 | 北 | 山口 |
|--------|----|----|-----|----|----|----|----|----|
| 339(人) | 64 | 48 | 37 | 44 | 48 | 33 | 39 | 26 |

■ 指揮本部の設置

消防局は地震直後に市内各消防署に対し「火災の鎮圧及び人命救助を最優先し最善の行動をとるよう」指令し、いち早く駆け付けた消防局長を中心に管制室内に指揮本部を設置した。この指揮本部において、救助を求め殺到する通報及び市内各所での出火情報から被害が甚大であると判断、各署の活動を本部の直轄指揮下に置き、管轄を外した部隊編成を実施し、現場活動の空白地域をなくすよう可能な限り効率的に運用した。

- 1月17日**
- 5時46分……地震発生
 - 全市防災指令第3号を運用（発令）
 - 5時48分……消防局は市内各消防署に対し人命救助を最優先し最善の行動をとるよう指示
 - 救助要請第1報を覚知（松原町倒壊現場～駆け付け）
 - 5時52分……消防局は最初の火災を自己覚知し（神明町）出動
 - 6時00分……●全市に災害救助法発令（1/22通知、遡及適用）
 - 6時20分……●管制室内に指揮本部設置（消防局長、消防部長、消防課長他）全ての火災現場に消火隊を投入する～1火災現場1ポンプ～を基本戦術とする。
 - 7時05分……●西宮市災害対策本部設置（本部長～市長・市役所4階会議室）
 - 8時20分……陸上自衛隊伊丹駐屯地から第1陣の自衛隊員（第36連隊60名）が西宮市に向け出発～9時10分到着 救助活動開始
 - 9時00分……●市災害対策本部員会議
 - 消防公安部より本部長へ災害状況、災害防御活動の状況、活動方針等を報告
 - 9時30分……市災害対策本部は自衛隊派遣要請及び消防広域応援要請を決定（県災害対策本部へNTT電話、衛星FAXで要請するも故障のため通じず。）
 - 9時58分……市災害対策本部から兵庫県への自衛隊派遣要請完了（県消防交通安全課へNTT電話により）
「西宮市の被害甚大、自衛隊の派遣を要請します。」
 - 11時03分……三田市消防本部の応援隊が西宮市到着（県内第1陣）
（17日中に県下5消防本部1消防団11台35名）
 - 12時35分……大阪市消防局の応援隊が西宮市到着（県外第1陣）
（17日中に県外2消防本部6台32名）
 - 14時58分……大阪市消防局のヘリが血液製剤を積んで市立中央体育館グラウンドに到着折り返しクラッシュ症候群（挫滅症候群）の患者を大阪大学医学部附属病院特殊救急部へ搬送した。～震災におけるヘリ搬送県内第1号

1月18日

1月17日から引続いて倒壊家屋からの救出活動展開
(市内各所で警察、自衛隊の救出活動同時展開)

1月19日

前日に引続いて倒壊家屋からの救出活動展開
(市内各所で警察、自衛隊の救出活動同時展開)
消防局は危険物施設被災調査実施

1月20日

市災害対策本部から仁川百合野町の50世帯100人に対して避難勧告実施
救出活動については、市災害対策本部からの情報及び市民からの通報に対応するとともに、特に行方不明者の捜索に重点を置き展開
1月20日から消防団は、38台の消防団車両に500～1,000ℓの簡易タンクを積載し給水活動を実施
消防局は地震に伴う消防水利と走行路線の緊急調査を実施するとともに使用した防火水槽に補水(海水、河川水等)

1月21日

市災害対策本部から苦楽園四番町、宝生ヶ丘及び生瀬高台の257世帯760人に対して避難勧告実施
フランス災害救助特別隊(バルバラン隊長以下61名、救助犬4頭)が来日し、甲子園口北町のビル倒壊現場で救助活動

1月22日

ローラー作戦の実施
未救出者が残っていないかを確認するため1月22日から1月30日まで、南部市街地を61ブロックに分割し、消防・警察・自衛隊の合同で捜索活動等を実施

■ 緊急通報受信状況

地震発生直後から、衛星回線を除く市内29回線から119番通報が殺到し、通報内容の殆んどが家屋倒壊による人命救助要請とガス漏れで、17日中の119番の受信件数は4,420件に達した。

■ 職員の非常参集状況

地震発生時消防職員は90人が勤務していたが、勤務中以外の職員は地震発生と同時に勤務場所又は最寄りの消防署に自発的に参集し、1時間以内には40人、2

時間以内には延べ90人となり、3時間以内には延べ160人が参集、当務員と合せ78%の職員が確保できた。

発災からの1時間毎の参集状況

| 消防吏員337人（招集除外者（研修中、病気療養中等）～16名） | | |
|---------------------------------|------|-------|
| 17 日 | 参集人員 | 現 在 員 |
| 5時46分 | 0人 | 90人 |
| 6時46分（1時間後） | 40人 | 130人 |
| 7時46分（2時間後） | 50人 | 180人 |
| 8時46分（3時間後） | 70人 | 250人 |
| 9時46分（4時間後） | 23人 | 273人 |
| 10時46分（5時間後） | 18人 | 291人 |
| 11時46分（6時間後） | 7人 | 298人 |
| 12時46分（7時間後） | 5人 | 303人 |
| 13時46分（8時間後） | 4人 | 307人 |
| 14時46分（9時間後） | 2人 | 309人 |
| 15時46分（10時間後） | 0人 | 309人 |
| （10時間以後） | 12人 | 321人 |

招集除外者16名のうち6名は翌日に参集した。

所属別参集状況

| | 消防局 | 西 宮 | 北夙川 | 鳴 尾 | 瓦 木 | 甲 東 | 北 | 山 口 | 計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 吏 員 数 | 62 | 48 | 37 | 44 | 48 | 33 | 39 | 26 | 337 |
| 勤 務 員 | 7 | 14 | 11 | 13 | 16 | 10 | 12 | 7 | 90 |
| 6時46分 | 11 | 5 | 4 | 5 | 8 | 3 | 2 | 2 | 40 |
| 7時46分 | 10 | 12 | 4 | 7 | 4 | 2 | 7 | 4 | 50 |
| 8時46分 | 16 | 8 | 6 | 4 | 9 | 11 | 11 | 5 | 70 |

■ 連絡情報収集体制

発災後直ちに情報収集のため緊急出動したが、途上で住民が立ちはだかるように消防車両を止め、倒壊家屋からの救出要請が相次いだ。このため当初は部分的な情報収集にとどまったため、消防職員を私服のまま携帯無線機を持たせ、バイク等で情報収集にあたらせた。また、消火、救助活動中の各隊から逐一現場状況を送信させるとともに、市内各所より非常招集により参集した職員から聞き取り調査を実施し、被害状況の総合的把握に努めた。

また、市災害対策本部が設置（7時05分）されると消防局幹部職員が市災害対策本部に詰め、消防局指揮本部との連絡調整にあたった。

■ 消火活動

部隊編成

地震後、火災を最初に覚知したのは、6分後の5時52分に管制室から職員が火煙上昇を発見したのが最初である。この後、7時までの間に出動隊による発見及び駆け付けなどで22件の火災が発生したが、119番による覚知は1件であった。

発災時の当務員は90人で、消防車両17台（救急車7台21人及び管制室員7人を除く。）62人が火災対応体制であった。指揮本部では市街地全域に及ぶ倒壊家屋からの救出要請と同時多発火災の双方に対応するための消火隊と救助隊の部隊統制を実施した。

火災の発生した地域は、商店街などの老朽木造家屋が密集しており、延焼拡大が危惧されたため「すべての火災現場に消火隊を投入する～1火災現場1ポンプ」を基本戦術として、被害の少ない北消防署のポンプ車2台を消防局に集結させた。

非常招集者が参集し、1分隊に達する毎に査察広報車、資器材搬送車、軽自動車などのあらゆる車両に可搬式動力ポンプ、水管などを積載させて現場に投入するとともに、市内消防団（38台）及び他市応援隊と連携を図った。このため大規模な延焼拡大は回避することができた。

使用水利

発災と同時に市内の消火栓のほとんどが断水し、使用不能の状態となった。このため、防火水槽、井戸、プール、受水槽、池をはじめ水量の少ない河川、溝水などからも土嚢やビニールシート、倒壊家屋の瓦礫などを使用し水をせき止めて取水した。

これは、濁水による教訓から、平成6年9月に「異常濁水に伴う特別消防体制」を各消防署・消防団に対し、次のように通知したことが功を奏した。

- ・自然水利の確保と有効活用を図るための部隊運用
- ・公共建物、危険地域、危険物製造所などの人命危険対象物の異常時火災警備計画の事前策定
- ・積載ホースの増加、土嚢による河川せき止めなどの資器材の増強
- ・消防団との連携強化などの徹底

断水時における水利使用状況

| 水利種別 | 基数 | 延べ使用台数 | 水利種別 | 基数 | 延べ使用台数 |
|------|----|--------|-------|----|--------|
| 防火水槽 | 29 | 32 | 溝水 | 4 | 4 |
| 河川 | 19 | 19 | 屋外消火栓 | 1 | 1 |
| プール | 2 | 3 | 貯水池 | 1 | 1 |
| 井戸 | 4 | 4 | 受水槽 | 1 | 1 |

初期消火

発災から3日間における火災41件（再燃火災を除くと35件）で、住民が初期消火を実施している火災は28件あり、全体の80%を占める。このうち4件が消防隊の手を経ずに、付近マンションの消火器や家庭の消火器を持ち寄り、あるいは付近の河川、井戸、溝水、学校のプールなどからバケツリレーを行い消火に成功している。



兵庫県南部地震に伴う火災発生状況

火災発生状況

| No. | 署別 | 発生日時 | 発生場所 | 焼損程度 | り災世帯 | 死傷者 | 初期消火 |
|-----|----|-----------------|----------------|--|---------|---------------|---------------------------------------|
| 1 | 西宮 | 1月17日 5:47頃 | 神明町4 | 共同住宅 1棟 207㎡全焼 | 7世帯9人 | 死者4人 | なし |
| 2 | 瓦木 | 1月17日 5:47頃 | 一里山町1 | 校舎 1棟 1,204㎡半焼 | なし | なし | 学校職員が消火器使用 |
| 3 | 瓦木 | 1月17日 5:47頃 | 上ヶ原一番町1 | 校舎 1棟 部分焼 | なし | なし | 学生が消火器使用 |
| 4 | 西宮 | 1月17日 5:47頃 | 青木町9 | 共同住宅 4棟 442㎡全焼 | 7世帯15人 | なし | 付近住民がバケツリレーを実施 |
| 5 | 瓦木 | 1月17日 5:47頃 | 広田町1 | 共同住宅・住宅 15棟 1,422㎡全焼 3棟 部分焼 | 20世帯67人 | 死者1人 | 付近住民がバケツリレーを実施 |
| 6 | 瓦木 | 1月17日 6:40頃 | 高木西町5 | 住宅・5棟 522㎡全焼 1棟40㎡半焼 1棟10㎡部分焼 2棟ぼや | 13世帯28人 | 死者1人 | 付近住民が消火器100本を使用及びバケツリレーを実施 |
| 7 | 瓦木 | 1月17日 6:55頃 | 門戸岡田町1 | 住宅 1棟 110㎡全焼 | 1世帯1人 | なし | 消防職員、付近住民が消火器100本使用及び20~30人がバケツリレーを実施 |
| 8 | 瓦木 | 1月17日 6:55頃 | 仁川百合野町10 | 住宅 7棟 543㎡全焼 | 8世帯26人 | 死者4人 負傷者1人 | 付近住民が消火器100本を使用及び住民、学生100人がバケツリレーを実施 |
| 9 | 西宮 | 1月17日 6:10頃 | 弓場町9 | 店舗他 4棟 273㎡全焼 | 2世帯6人 | なし | 付近住民が近くのマンション2ヶ所から屋内消火栓を使用 |
| 10 | 西宮 | 1月17日 5:50頃 | 郷免町5 | 住宅 3棟 247㎡全焼 車両 1台 全焼 | 3世帯11人 | 死者3人 | 寮生による屋内消火栓（3ヶ所）使用及び付近住民が消火器、バケツリレーを実施 |
| 11 | 西宮 | 1月17日 6:45頃 | 弓場町6 | 住宅 2棟 156㎡全焼 58㎡半焼 | 2世帯6人 | なし | 付近住民がバケツリレー実施 |
| 12 | 西宮 | 1月17日 6:52頃 | 若松町4 | 共同住宅 1棟 143㎡部分焼 | 8世帯19人 | なし | なし |
| 13 | 西宮 | 1月17日 6:52頃 | 津門仁辺町4 | 共同住宅 1棟 119㎡全焼 | 6世帯6人 | なし | 管理人と寮生が自寮の屋内消火栓を使用 |
| 14 | 瓦木 | 1月17日 6:55頃 | 一ヶ谷町8 | 共同住宅 1棟 ぼや | 1世帯2人 | なし | 付近住民が消火器使用 |
| 15 | 鳴尾 | 1月17日 7:30頃 | 甲子園五番町2 | 住宅 1棟 114㎡全焼 3棟 22㎡部分焼 | 4世帯12人 | 負傷者1人 | 家人、付近住民がバケツリレーを実施 |
| 16 | 瓦木 | 1月17日 6:30頃 | 甲子園口北町1 | 店舗・住宅 1棟 173㎡全焼 3棟 部分焼 | 2世帯6人 | なし | 付近住民が消火器使用 |
| 17 | 瓦木 | 1月17日 8:30頃 | 戸崎町6 | 店舗 1棟 ぼや | - | なし | なし |
| 18 | 西宮 | 1月17日 9:05頃 | 青木町9 | 住宅 2棟 156㎡全焼 | 2世帯7人 | なし | 付近住民がバケツリレーを実施 |
| 19 | 西宮 | 1月17日 9:25頃 | 上甲子園3丁目4 | 共同住宅 1棟 352㎡全焼 | 10世帯14人 | なし | 付近住民が消火器使用 |
| 20 | 瓦木 | 1月17日 5:47頃 | 北口町21 | 1棟90㎡全焼 住宅 1棟 部分焼 1棟 ぼや | 2世帯6人 | なし | 付近住民が消火器使用及びバケツリレーを実施 |
| 21 | 西宮 | 1月17日 12:30頃 | 常盤町7 | 住宅 1棟 122㎡全焼 1棟 部分焼 | 2世帯7人 | なし | 付近住民がバケツリレーを実施 |
| 22 | 西宮 | 1月17日 12:43頃 | 上甲子園3丁目4 | 共同住宅 1棟 26㎡部分焼 | 1世帯1人 | なし | なし |
| 23 | 瓦木 | 1月17日 13:00頃 | 一里山町1(再燃) | 校舎 1棟 3㎡部分焼 | - | なし | なし |
| 24 | 西宮 | 1月17日 13:00頃 | 郷免町5(再燃) | 3棟 ぼや | - | なし | なし |
| 25 | 西宮 | 1月17日 17:10頃 | 与古道町5 | 共同住宅 1棟 ぼや | 2世帯2人 | なし | 付近住民がバケツリレーを実施 |
| 26 | 西宮 | 1月17日 17:20頃 | 津門仁辺町4 (再燃) | 共同住宅 1棟 ぼや | - | なし | なし |
| 27 | 瓦木 | 1月17日 20:10頃 | 南昭和町2 | 共同住宅 1棟 285㎡半焼 | 16世帯16人 | なし | 付近住民が市場内の屋外消火栓、消火器使用及びバケツリレーを実施 |

| No. | 署別 | 発生日時 | 発生場所 | 焼損程度 | り災世帯 | 死傷者 | 初期消火 |
|-----|----|-----------------|-------------------|-------------------|---------|-----|-----------------------------------|
| 28 | 西宮 | 1月17日 21:30頃 | 青木町9 (再燃) | 共同住宅 1棟 ぼや | — | なし | なし |
| 29 | 西宮 | 1月18日 0:55頃 | 青木町9 (再燃) | 住 宅 1棟 ぼや | — | なし | なし |
| 30 | 瓦木 | 1月18日 7:28頃 | 南昭和町2 (再燃) | 共同住宅 1棟 ぼや | — | なし | なし |
| 31 | 西宮 | 1月18日 16:13頃 | 馬場町1 | 共同住宅 1棟 部分焼 | 2世帯2人 | なし | なし |
| 32 | 瓦木 | 1月18日 16:20頃 | 戸田町6 | 店 舗 1棟 ぼや | — | なし | なし |
| 33 | 西宮 | 1月19日 8:11頃 | 宮西町4 | 共同住宅 1棟 181㎡半焼 | 10世帯15人 | なし | 付近住民が消火器100本使用及び近くのマンションの屋内消火栓を使用 |
| 34 | 西宮 | 1月19日 17:00頃 | 上醍原町1 | 共同住宅 1棟 570㎡全焼 | 16世帯24人 | なし | 消火器使用 |
| 35 | 西宮 | 1月19日 18:00頃 | 満池谷町5 | 住 宅 1棟 47㎡半焼 | 2世帯6人 | なし | 消火器、水道水使用 |
| 36 | 瓦木 | 1月17日 6:30頃 | 上ヶ原六番町1 | 共同住宅 1棟 12㎡部分焼 | 3世帯3人 | なし | 消火器使用 |
| 37 | 西宮 | 1月17日 6:00頃 | 本町7 国道43号 線上路上 | 大型トレーラー 1台 全焼 | — | なし | 消火器使用 |
| 38 | 西宮 | 1月17日 6:00頃 | 本町7 国道43号 線上路上 | 普通貨物自動車 1台 全焼 | — | なし | 消火器使用 |
| 39 | 西宮 | 1月17日 6:00頃 | 本町7 国道43号 線上路上 | 普通乗用車 1台 全焼 | — | なし | 消火器使用 |
| 40 | 西宮 | 1月17日 7:00頃 | 津門呉羽町2 | 共同住宅 1棟 ぼや | 1世帯1人 | なし | なし |
| 41 | 西宮 | 1月17日 5:50頃 | 津門大塚町7 | 共同住宅 1棟 ぼや | 1世帯3人 | なし | 水バケツ |

地震に伴う出火原因及び時間別一覧表

| 発火源 | 経過等 | 合 計 | 出 火 日 時 | | | | | | | |
|---------|--------------|--------|-------------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------|------|
| | | | 1 5 7 | 17 :47 :00 | 7 :00 :00 | 9 :00 :00 | 11 :00 :00 | 13 :00 :00 | 1/18 | 1/19 |
| | | | 41 | 22 | 3 | 2 | 4 | 3 | 4 | 3 |
| 電気ストーブ | ストーブの転倒 | 3 | 2 | | | | | | | 1 |
| 化学薬品 | 硝酸類が混合 | 1 | 1 | | | | | | | |
| | 金属ナトリウムが水と反応 | 1 | 1 | | | | | | | |
| 屋内配線 | 配線がショート | 1 | | 1 | | | | | | |
| 水槽用ヒーター | 水槽の水がなくなり過熱 | 2 | 1 | 1 | | | | | | |
| 電気アンカ | 電気アンカ本体の破損 | 1 | 1 | | | | | | | |
| 煉炭掘こたつ | 煉炭の上に可燃物が落下 | 1 | 1 | | | | | | | |
| ガス湯沸し器 | 種火に都市ガスが引火 | 1 | 1 | | | | | | | |
| 飛び火 | 火の粉が屋根に飛び火 | 1 | | | | 1 | | | | |
| インターホン | 配線がショート | 1 | | | | | | 1 | | |
| 蛍光灯 | 蛍光灯のスパーク | 1 | | | | | | 1 | | |
| 再燃 | 残り火から再び出火 | 6 | | | | 2 | 2 | 2 | | |
| 原因不明 | 建物の火災 | 18 | 11 | 1 | 2 | 1 | 1 | | | 2 |
| | 自動車の火災 | 3 | 3 | | | | | | | |

